



氷見市立 稲積小学校

校長: 政 智佳子 先生

指導教諭: 松原 智子 先生

発表児童: 4年生 22名

発表テーマ

大好き余川川！ 余川川探検隊

1年生のころより、「いかだ遊び」を通じて親んできた余川川。今年度、余川川の下流・中流・上流を探検しました。

3地点を比較しながら、「川にすむ生き物」や「川と生活とのかかわり」などについて調べていきました。そして新たな課題として、余川川の昔と今の変化やきれいにしようとする人々の努力に目を向けました。

これらのことから、未来の余川川や自分たちにできることを考えました。

松原 智子 先生より

ふるさとの川が大好きな子供たちに

毎年、余川川でいかだ遊びや魚つりをしてきた子供たち。でも、余川川のことをよく知りませんでした。実際に川に入って、生き物を捕まえたり、川の様子を観察したりする活動を楽しんだりするうちに、「水のきれいさ」「ごみ」「石」「植物」などへも視点が広がり、課題意識が生まれました。上流・中流・下流と比較して調べることで、追究の楽しさを味わう子どもも増えました。

また、地域の方たちに昔の余川川の様子を教えていただいたり、余川川への熱い思いに触れたりしたことは、「生き物がいっぱいきれい余川川であってほしい。そのために、ほくたちにできることをしたい」という願いにつながりました。

子供たちと感動を共有しながら、この願いの実践化に向け応援したいと思います。



温かい木造校舎の稲積小学校は、創校130周年を迎えた今年度をもって閉校します。

校区は天草が採れる海と梅林がある山に囲まれ、その中心部を余川川が流れ、自然に恵まれた所です。この川では、平成5年からいかだ遊びや魚釣りが続けられ、今年度も全校の子供たち114名で楽しみました。

子供たちは、様々な活動を通して、「稲積が好き」「友達が好き」など「好き」を増やすことを目指してがんばっています。



▲1回目の探検(中流)で大きなカメを発見しました。「コイもいるよ」と近所の方に教えてもらいました。



▲下流探検 川べりに船が並んでいました。



▲平成5年から続くいかだ遊び 自分たちの乗るいかだを協力して製作します。



▲上流探検 自然のごみが多いのにびっくり。かんも拾いました。

考えたこと 感じたこと

ごみを捨てない

竹岸 晴香(4年生)

「余川川探検隊」の学習をしていくなかで、わたしは、川にごみを捨てないようにになりました。それは、余川川をもっと大切にしていかなければならないと思ったからです。

初めて見たとき、「なんてきたない川だろう」と思いました。しかし、川辺の植物を調べていくうちにヘビイチゴやシロツメクサを見つけました。夏の探検では、もっとたくさんあるのではないかとワクワクしながら、川の中州へ行きました。他の場所も調べたいなという思いがどんどん広がりました。上流探検でもたくさんの植物を見つけましたが、摘みませんでした。余川川の自然を守りたかったからです。これでいいんです。まず、わたしから。



▲上流探検 川の流れの速さ、冷たさ、音にびっくりしました。

学習テーマの設定

稲積小最後の夏休みに

私たちの夏休みは余川川でのいかだ遊びと魚つりから始まります。学校が統合され、稲積小での川下りは今回が最後。楽しさとさみしさのまざった気持ちで、親しんできた余川川を探検することになりました。

大好き余川川 余川川探検隊

氷見市立稲積小学校 4年生



川からの目線でみる

いかだから川を見ると、魚のような目線で見つめられます。また魚つりをしていて、河口では海にすむ魚も、川にすむ魚もいることを発見。この川の水はどこからくるのかなど調べ始めました。

学習の展開

下流・中流・上流のちがい

余川川の下流・中流・上流についてそれぞれ探検し、川のようなすや生き物について調べて比較することになりました。

余川川 たんけんたい



川のようなすを比べる

上流では水深が浅く大きな石がゴロゴロしていて、河口では水深は2mになり砂利がありました。また昨年とった写真と比べると、大雨のためか大きな石の場所がちがっていて、「水の力」を感じました。

生き物がいっぱい

上流ではきれいな川にすむ生き物がたくさんいて、中流・下流でもさまざまな生き物がすんでいました。学校の近くにはいろいろな植物があり、余川川はすばらしい自然がいっぱいです。

生息する生き物

上流	中流	下流
ウグイ	ウグイ	クサフグ
タカハヤ	コイ	コチ
ヨシノボリ	ヨシノボリ	ボラ
ナチフンボの幼虫	カメ	ハゼ
シマイシヒル	ミズムシ	
トビケラ		
カゲロウ		



川を守るいろいろな工夫

透明度や源流を調べつつ、ゴミの多さにも気づきました。お母さんたちが川にゴミをすてないよう工夫していることや、土手の改修工事ではコンクリートと自然を組み合わせていることなども知りました。

私たちにできることは？

余川川のすてきな所を知ってもらおう！ゴミを捨てないようポスターを作ろう！ほくたち私たちが、おじいさん・おばあさんになっても川がきれいであり続けるよう、これからも活動していきます。

